

# 滋賀県公安委員会定例会議会議録等

## 第1 日時

令和4年12月22日（木）午後1時30分～午後3時30分

## 第2 出席者

### 1 公安委員会

北村委員長、大塚委員、高橋委員

### 2 県警察

鶴代本部長、森脇警務部長、長生活安全部長、野崎刑事部長、寺堀交通部長、野村警備部長、竹谷首席監察官、溝口情報通信部長

## 第3 議事の概要

### 1 協議事項

なし

### 2 報告事項

#### (1) 令和4年11月末の犯罪情勢について

長生活安全部長から、令和4年11月末の犯罪情勢について報告があった。その際、大塚委員から「犯罪認知件数は、コロナ禍以前と比較すれば、総数として増加している状況には無いが、凶悪犯、粗暴犯などについては、増加傾向がみられるので、罪種に絞っての分析もお願いしたい。」、高橋委員から「護身術教室は、多くの要望を聞いているので、広く啓発し、数多くやってもらいたい。また、警察の取り扱う業務は幅広いことから、既成の連携だけでなく、より多くの専門分野との連携を図ってもらいたい。」、北村委員長から「新型コロナウイルスの蔓延により、人の動きが大きく変わってきているので、全国の事例なども確認し、今一度、啓発の在り方を含めて検討し、各種施策を講じていただきたい。」旨の発言があった。

#### (2) 令和4年11月末の交通事故発生状況について

寺堀交通部長から、令和4年11月末の交通事故発生状況について報告があった。その際、大塚委員から「これまでの成果が確実に出ており、今行っている施策は、必ず、来年、再来年に成果として表れてくるので、引き続き、地道に活動いただきたい。」、高橋委員から「この1年、良くやっていただいた。今後、自転車のヘルメットについては、着用率が上がるように工夫、研究願いたい。」、北村委員長から「一時停止、歩行者妨害の違反が減少したのは、日々の取組の成果である。しかしながら、高齢者の交通事故が多いので、年末に向け、気を引き締めて交通事故抑止に取り組んでいただきたい。」旨の発言があった。

## 第4 個別報告・決裁関係

### 1 報告事項

なし

### 2 決裁関係

#### (1) 運転免許行政処分について

警察から、運転免許取消対象事案等について、事案の内容及び意見聴取並びに聴聞の結果の報告を受け、協議の結果、9件について行政処分を決定した。

#### (2) 公安委員会に対する苦情の申出の受理について

警察から、公安委員会に対する苦情の申出の受理について2件の報告があり、いずれも、これを了承した。